

# 欧米に学ぶ近代的な国づくり

明治政府による国づくりが始まってまもない1871年、不平等条約を改正することと、欧米諸国の社会や産業のしくみを視察する目的で岩倉使節団が派遣されました。使節団のルートや使節団に関するできごとについて調べてみましょう。



↑ア 岩倉使節団がたどったルート

年	おもなできごと（◆は、近代的な国づくりのために学んだこと）
1871年	横浜港を出発する。… <a href="#">地図アの①</a> 参照
1872年	アメリカのグラント大統領に国書をわたす。… <a href="#">地図アの②</a> 参照 アメリカと条約改正の交渉を始める。数回交渉したのち、失敗に終わる。 アメリカからイギリスに移動する。… <a href="#">地図アの③</a> 参照 ◆ヨーロッパの教育制度について報告書にまとめ、日本の学校教育制度の参考とする。 ◆イギリスの議会を見学する。 イギリスと条約改正の交渉を始める。数回の交渉後、失敗に終わる。 イギリスのヴィクトリア女王に面会する。 フランスのティエール大統領に面会する。… <a href="#">地図アの④</a> 参照
1873年	ベルギー、オランダの国王、ドイツの皇帝に面会する。 ◆ドイツの政治家ビスマルクに会い、国におさめ方について話をきき影響をうける。 ロシア、デンマーク、イタリアなど、各国の代表に面会する。 ◆ウィーン万国博覧会を見学する。 至急帰国するよう命令が出される。イタリアのマルセイユを出発する。… <a href="#">地図アの⑤</a> 参照 横浜港にて帰国する。… <a href="#">地図アの①</a> 参照

↑イ 岩倉使節団に関するおもなできごと